

高橋けいすけ 県議会報告

No.15

2011年1月1日

発行人/高橋啓介県議会議員

自宅/山形市高堂1-5-20-3

☎023-643-4847

県議会山形県民クラブ執務室

☎023-630-3211

新春号 (12月定例会)

新春のお慶びを申し上げます

県政も、吉村知事が誕生して丸2年目を迎えようとしております。当初、議会における支援県議が少ない事もあって県民の皆様方から、議会对応につきまして心配の声を頂きましたが、現在は、吉村知事の積極的な県政運営によって不安材料はなくなってきました。

あの激寒の選挙戦が随分前に感じられるのは、目まぐるしく日々が動いているからでしょうか。特に、政権交代したことによって政策の動きも変り、子ども手当の新設や公立高校の授業料無償化、そして農家の戸別所得補償政策、更に、「地域主権改革」により自由に使える地方交付税も増えました。

しかし、参議院選挙の敗北を機に政権は混迷の状況にあります。政権に対する期待感が大きく後退してきております。国の方針がしっかりしてこそ国民生活の安定につながるものと痛感しております。

去る、12月7日に介護問題や支援教育を中心に一般質問を行いました。その内容を含め報告させていただきます。

なお、この度の議会におきまして、新卒者の雇用創出に向け、今年度も新規に採用する企業に対して奨励金を交付することとなりました。昨年は、高校生に限ってありましたが今年は短大・専修学校そして大学卒業者まで対象にすることとしております。

今後とも、県民の幸せを求め吉村県政の与党として精一杯努力して参ります。

最後に、御家族の皆様にとりまして本年が輝かしい年となりますよう御祈念申し上げます。



介護の社会化を

介護保険が平成12年度にスタートして10年が経過しました。しかし、制度改正のたび介護の「社会化」は大きく後退しました。背景には小泉改革の社会保障費2,200億円削減があります。県でも、施設入所待機者が7,000人を越えていましたが、政権交代により施設建設が進み、来年度700人の方が入所できるようになりました。待機者ゼロをめざしてこれからも進めていかなければなりません。また、課題として入所申し訳の関係があります。多くの方々が10箇所ぐらいの施設に申し込みをしております。しかし、残念ながら、家族と同居の場合は早くても2年ぐらい待たなければなりません。介護保険の制度で、利用者と施設の契約になっている関係で現状のよう



(12月7日の一般質問/本会議場にて)

なっていますが、住民の利便性と公平・公正な入所判定、さらに事務の効率化の観点から1箇所で受付が出来ないのでしょうか。市内全部の施設が共同で事務処理すればどれだけ時間的にも経済的にもプラスになると思います。改善を求めて努力してゆきたいと考えております。

介護保険料と 運営の広域化について

高橋県議／保険料が、最も高いのは山辺町の4,950円で、最も低いのは村山市の3,000円である。保険料基準額の差の要因は。また、市町村財政への支援と介護保険の運営の広域化をどのように捉えているのか。

健康福祉部長／介護保険料基準額の差は、要介護認定率や介護サービス利用率の相違、特別養護老人ホームなどの施設利用状況の違い、さらには介護給付費準備基金の取り崩し状況などによるものと考えている。また、市町村に対する県の支援策は、資金の貸付または交付を行う財政安定化基金制度がある。

介護保険の運営の広域化については、

財政の安定化や保険者機能の強化などのメリットがある一方、市町村による運営にも、住民に身近できめ細かい対応ができるメリットがあり、比較検討うえ市町村の判断が基本となる。

介護認定審査の 改善方策について

高橋県議／県は、介護認定審査会の共同化あるいは広域化について、また、介護認定審査の一層の公平化、迅速化、平準化等を図るために、どのような改善方策を考えているのか。

健康福祉部長／介護認定審査会の共同設置については、制度スタート時点から、寒河江・西村山地区と最上地区で実施されている。

事務の効率化・専門化などを考えると

重要なものと認識しており、今後認定申請件数が増えると、専門職の認定審査会委員を管内のみで充足することが難しくなる市町村も出てくることも考えられる。県としては、このような事情を考慮し、市町村の意向を踏まえて助言を行いたい

と考えている。

また、介護認定審査の一層の公平化、迅速化、平準化等を図るための、制度改定に迅速に対応し、調査員及び審査委員の資質向上に努め、一層の適正化を図っていく。

米の戸別所得補償に 品質加算を

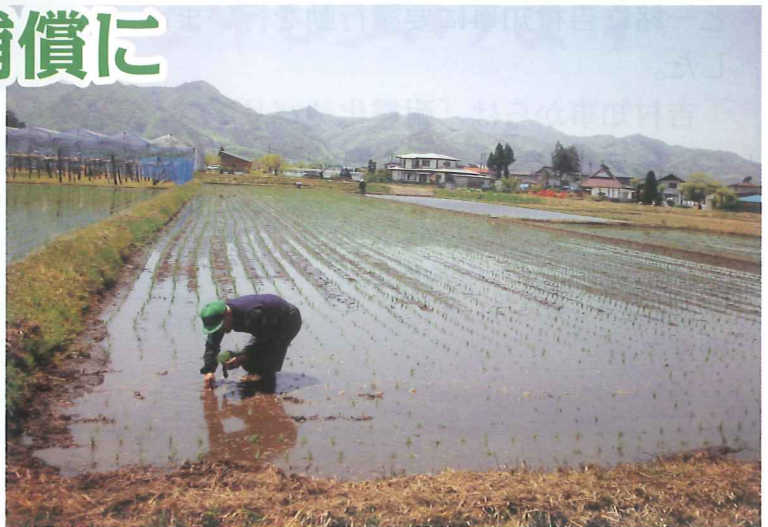
高橋県議／来年度から、畑作を含め農家に対する戸別所得補償が本格的にスタートする。国が、所得補償することで米の供給不足を来たさない限り、米価は安く買い叩かれる。生産意欲や品質を落とさないため「品質加算」を国に求めるべきではないか。また、戸別所得補償では家族労働力を8割で見えており更なる改善が望まれる。

農林水産部長／品質加算は、大幅な品質低下が発生したような場合に、品質向上に向けた努力を促すうえで重要な視点であり、生産意欲向上の側面や現場の意見を踏まえながら、県として、様々な機会を捉え国に制度の充実を提案したい。

家族労働費は、経営努力（生産の効率化や規模拡大）が進まなくなる恐れがあることや、自給率の低い主食用米以外の生産を誘導するなどから、8割で算入されている。現状から踏まえれば、今後の政策がどう展開されるのか、見極める必要があると考える。

交通事故の6倍強！

高橋県議／12年連続で自殺者が3万人を超える異常な状態が続いている。悲惨な交通事故の6倍強である。国では平成



18年に法制化、自殺総合対策大綱も作り平成28年までに、平成17年の自殺死亡率を20%以上減らすことを目標にしているが全く結果が出ていない。本県も改善策が不十分である。自殺予防対策にさらなる力を。

吉村知事／本県でも毎年300人を超える方々が自ら命を絶たれているという深刻な状況を踏まえ、自殺対策事業の大幅な拡充を行ったところである。平成23年度までの3か年を集中的な自殺対策取り組み期間として①自殺者数に占める割合が高い高齢者に対しては、民生委員による見守り活動の強化②事業所でのメンタルヘルスの取り組みや「いのちの電話」への支援の充実③教育委員会と連携した「いのちの教育」の推進に重点を置いて取り組みを進めていく。今後とも、市町村、総合支庁、関係団体との連携を強化し、積極的な啓発活動を展開するなど、県を挙げて自殺の防止に向けた取り組みを推進したいと考えている。

総合的なリフォーム政策を推進

景気の低迷や先行きが不透明な事もあり、住宅着工建設が大幅にダウン。住宅建設は、多くの業種が係わるため景気回復には、非常に有効な政策であります。そのため、建設関係の皆様方と一緒に吉村知事に要請行動を行いました。

吉村知事からは「耐震化やバリアフリー化などの安全で安心な住まい作りのほか、省エネ住宅や県産木材使用住宅など総合的な住宅リフォーム支援制度を創設したい。また、市町村との連携を視野に入れ政策を進めてゆきたい」との考えが示され、要請に応じて頂きました。新年度に向け市町村との議論もふまえ、県民の多くの方々が利用しやすい制度になるものと期待しております。



(11/9 山形県建設労働組合連合会役員と要請)

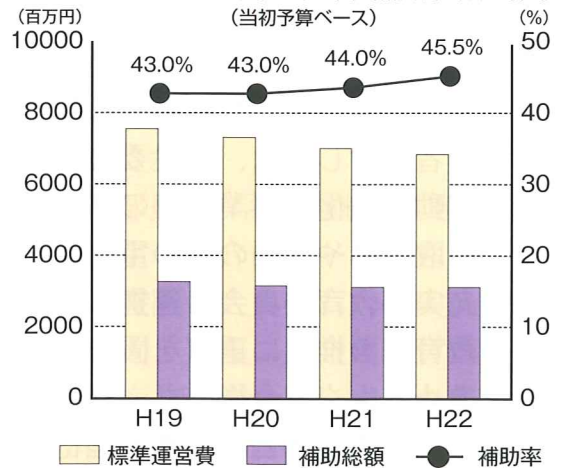
い」との考えが示され、要請に応じて頂きました。新年度に向け市町村との議論もふまえ、県民の多くの方々を利用しやすい制度になるものと期待しております。

私学助成の補助率引き上げを

総務委員会にて、来年度の私立学校一般補助金に対する予算概要が示されました。昨年より1%助成拡大を要求しております。それに対し私は…吉村知事が私学の皆さんに約束をしております「50%の補助率に近づける」との関係からすると要求が少ないのではないのか。更に

助成枠を増やことが知事の考えを前に進めることになる。少なくとも一期4年の中で対応するのが筋ではないか等…執行部の考えを質しました。経済的理由によって中途退学に追い込まれない環境を一日でも早く作ることが大切と考えます。

私立高等学校(全日制)の経常費補助総額の推移



つや姫のブランド化を



これまでお米が身近であったためか、それを贈答品として考えたことはありませんでした。吉村知事の全国発進を受けて私も【つや姫】を長崎県の知人に送ったところ絶賛され、また、東京の知人からは「コシヒカリより美味しい」との声。暑さにも強い【つや姫】のブランド化は県内の一人ひとりの発信が大きなカギになって

いると思いました。



皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。